

各務原市総合計画策定にかかる 市民(若者)ワークショップ結果報告書

令和6年4月

各務原市

目 次

1. 実施概要	2
(1)実施目的	2
(2)参加者	2
(3)開催日時等	2
(4)実施方法	3
2. 市民(若者)ワークショップの写真	4
(1)第1回目の様子	4
(2)第2回目の様子	4
(3)第3回目の様子	5
3. 市民(若者)ワークショップの結果	6
(1)第1回目の結果	6
(2)第2回目の結果	18
(3)第3回目の結果	27

各務原市総合計画 市民（若者）ワークショップ

1. 実施概要

(1)実施目的

令和 5 年 4 月～5 月にかけて開催した市民ワークショップでは、中学生、高校生×大学生、一般の部と3種類のワークショップを開催し、各務原市の将来都市像などを定める「基本構想」の策定に向けて、あらゆる年代の市民の多様な視点から「各務原市の魅力や将来像」について様々な意見を収集しました。

今回のワークショップでは、具体的な取組を定める「基本計画」の策定に向けて、今後社会の担い手となる若者に、分野ごとに各務原市の強みや弱み、より良い将来に向けて取り組むべきことやそのために自分たちにできることを考えていただき、参加者同士の交流から生まれる意見やアイデアの収集を目的として実施しました。

(2)参加者

下記団体から選出された20代から40代までの若者と該当するテーマに関する市内ワーキンググループメンバーが参加しました。

- ・ 各務原商工会議所青年部
- ・ 一般社団法人各務原青年会議所
- ・ 一般社団法人かかみがはら暮らし委員会
- ・ 株式会社 OUR FAVORITE CAPITAL
- ・ 各務原市消防団
- ・ 市内子育てサークル(“しゃんしゃん”、“はむえっぐ”より 1 名ずつ)
- ・ 中部学院大学
- ・ 東海学院大学

(3)開催日時等

	日時・場所等
第1回	日 時:令和6年1月13日(土) 午後2時～午後4時 場 所:産業文化センター8階第2特別会議室 参加者:22 名
第2回	日 時:令和6年2月4日(日) 午前 10 時～正午 場 所:産業文化センター8階第2特別会議室 参加者:25 名
第3回	日 時:令和6年2月12日(月) ※振替休日 午前 10 時～正午 場 所:産業文化センター8階第2特別会議室 参加者:26 名

(4)実施方法

- ・ 各回とも、参加者に3グループ、各テーブル6～8名に分けました。
- ・ 各グループには、総合計画策定にかかる庁内ワーキンググループのメンバーが 1～2 名ずつ参加しました。
- ・ テーマは、9つの基本目標を3つずつ統合したもの(計3テーマ)で、毎回異なるテーマについて取り組みました。(下表のとおり)
- ・ はじめに、第1回目は総合計画についての説明、各回のテーマに即した市の取り組みの説明を行いました。第2回目以降は、提案や発表する意見、アイデアについての説明、テーマにかかる市の取り組みの説明を行いました。
- ・ 説明を踏まえて、各回のテーマのもと、第1回目は各務原市の①「強み・弱み」②「強みを伸ばし、弱みを克服するためにこれから取り組むべきこと」③「これから取り組む、わたしたちにできること」④「必要な公助」などについて意見交換をしました。
- ・ 第2回目以降については、①は令和5年春に開催したワークショップで収集した内容を参加者に共有した上で、主に②～④について意見交換をしました。
- ・ テーブルマネージャー1名が、各テーブルに加わり、進行役を務めました。
- ・ 付せんに意見を書き出して、模造紙の上に意見を整理しました。
- ・ 各テーマについての整理が終わり次第、各グループで内容を発表しました。

回 数	テーマ	基本目標
1回目 (1月13日)	まちを支える	みんなが快適に暮らせる住みよいまち 《都市基盤整備》
		みんなで創るにぎわいと活力のあるまち 《産業・交流》
		みんなでつなぐ持続可能なまち 《行財政》
2回目 (2月4日)	ひとを育む	みんなが活躍する協働のまち 《市民協働》
		みんなが心豊かな子どもを育むまち 《出産・子育て・教育》
		みんなが輝き彩りのあるまち 《文化・スポーツ・生涯学習》
3回目 (2月12日)	くらしを守る	みんなを守る自然豊かで美しいまち 《自然・環境》
		みんなが支えあい健やかに暮らせるまち 《健康・医療・福祉》
		みんなが築く安全安心のまち 《防災・防犯》

2. ワークショップの写真

(1) 第1回目の様子

オリエンテーションの様子



グループワークの様子(1)



グループワークの様子(2)



グループ発表の様子



(2) 第2回目の様子

テーマ説明の様子



グループワークの様子(1)



グループワークの様子(2)



グループ発表の様子



(3)第3回目の様子

グループワークの様子(1)



グループワークの様子(2)



グループ発表の様子



市長講評の様子



3. ワークショップの結果

(1) 第1回目の結果

A班

<都市基盤整備>

《交 通》

強み
・ アクセスが良い ・ 大きなインフラ（国道・鉄道）がある ・ 公共交通機関が整備され、交通の便が良い ・ 道路が整備されている
弱み
・ 公共交通機関の充実課題 ・ 基本移動が車 ・ 自転車利用だとインフラが弱い ・ 歩道の連続性がなく、ぶつ切り状態 ・ 航空祭での道の混雑 ・ 自衛隊でまちが南北に分断
取り組むべきこと
・ 交通整備 ・ 交通の整備。駐車場・歩道とか ・ 鉄道・自家用車利用以外のインフラ整備⇒乗り合わせ、チョイソコの活性化 ・ タクシー助成 ・ 航空祭での交通整備、渋滞への対策
市民ができること
・ バスに乗車 ※バスの本数を増やす為には、まずはバス乗車人数を増やす必要あり ・ 支え合い活動への参加（移動支援の担い手）

《自 然》

強み
・ 自然が豊かである ・ 自然が豊か ・ ほどよい自然 ・ 百十郎桜 ・ 災害に強い
市民ができること
・ 災害に強い自然であることを市外（県外）にもアピールする

＜産業・交流＞

＜工 業＞

強み
・ 航空宇宙産業が盛ん ・ 大きな企業がある ・ テクノプラザなど製造業が盛ん ・ 製造業の集積地（１９年連続、製造品出荷数県内１位）
弱み
・ 次世代の産業の発展（宇宙ビジネスとか）が必要 ・ 工業商業校が近くにない
取り組むべきこと
・ 次世代ビジネスの企業誘致

＜観光交流＞

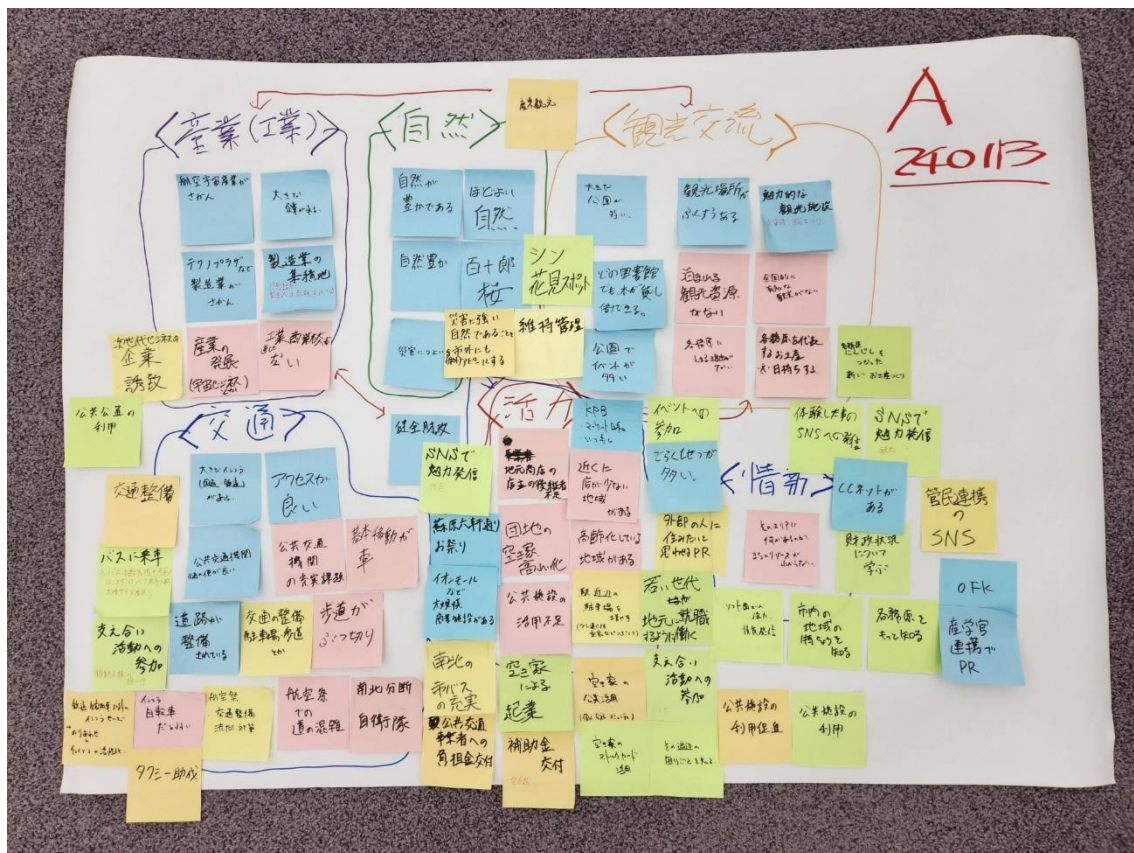
強み
・ 大きな公園が多い ・ 観光場所が複数ある ・ 魅力的な観光施設（空宙博（そらはく）、桜まつり）がある ・ 公園でのイベントが多い
弱み
・ 泊まれる施設や宿泊に値する観光資源がない ・ 各務原に泊まる理由がない ・ 全国的に有名な観光資源がない ・ 各務原を代表する日持ちするお土産がない
取り組むべきこと
・ 公園等の維持管理
市民ができること
・ 各務原にんじんを使った新しいお土産づくり ・ 新花見スポットづくり ・ イベントへの参加

《活 力》

強み
・ 健全財政 ・ KPB（KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE）、マーケット日和、いつもし（いつものもしもCARAVAN）の開催 ・ 娯楽施設が多い ・ 蘇原六軒通り、お祭りの開催 ・ イオンモールなど大規模商業施設がある
弱み
・ 地元商店の店主の後継者不足 ・ 近くに店が少ない地域がある ・ 高齢化している地域がある ・ 団地の空き家、高齢化 ・ 公共施設の活用不足
取り組むべきこと
・ 外部の人に住みたいと思わせるPR ・ 駅近辺で駐車場となる可能性がある空間を探す（少し遠くても空き家などを潰して） ・ 空き家の公共活用（個人・会社・コミュニティ） ・ 補助金交付（空き家） ・ 南北の市バスの充実 ・ 公共交通事業者への負担金交付 ・ 公共施設の利用促進
市民ができること
・ SNSで魅力発信 ・ 若い世代は地元就職するように働きかける ・ 空き家の活用による起業 ・ 支え合い活動への参加 ・ 空き家のストックヤードとしての活用 ・ 各地域の周辺の困りごとを知る ・ 公共施設の利用

「情報」

強み
・ CCnetがある ・ OFK (OUR FAVORITE KAKAMIGAHARA) がある ・ 産学官連携でPR ・ どの図書館でも本が貸し借りできる
取り組むべきこと
・ 官民連携のSNS
市民ができること
・ 各務原をもっと知る ・ 市内の地域の特徴を知る ・ ソフト面での協力・情報発信 ・ 体験したことのSNSへの発信 ・ SNSで魅力発信 ・ 財政状況について学ぶ



B班

<都市基盤整備>

《コンパクトシティ》

強み
・ 電車の駅が多い ・ 岐阜にも名古屋にも交通の便が良い ・ 名古屋に近い
弱み
・ コンパクトシティ化ができていない ・ 空き家増加への対策 ・ 調整区域の活用の難しさ ・ 土地が少なく企業誘致できない ・ 愛知に就職、家は岐阜 ベットタウン化 ・ 駅周辺が発展していない
取り組むべきこと
あつまって住もう ・ 住み分け、土地利用のリストラ ・ 空き家・有効利用？他の方法？都市の再整備？ ・ 空き家の取壊しへの補助。住み替えの推進 ・ 調整区域の開発許可 駅を活用しようよ！ ・ 徐々に居住エリアの集積を進める ・ 駅の周りにスポットを作る ・ 駅周辺の活性化促進 ・ 駅周辺の土地開発、高さ規制の廃止
市民ができること
・ 電車をたくさん使う

《住みやすさ》

強み
子育て世代はすごく住みやすい ・ たんとんくらぶ、かかみがはらの広報紙で知りたい事がたくさん知れる ・ 子育て世代に優しい住みやすい町 ・ ゴミの出しやすさ ・ 子ども館の方がイベントやサークル作りを進んでしてくれる 自然豊かなまち ・ 住みかと自然が近い ・ 程良い都会、程良い田舎 ・ 公園が多い ・ 公園がたくさんある 災害に強いまち ・ 災害に強い、自衛隊
弱み
もっと住みやすい町に！ ・ どこでもベビーカーを押して歩ける道に整備して欲しい ・ 街灯がもっと欲しい 学生には辛い ・ 学生としてはもっと遊ぶ場が欲しい 災害に強いまち ・ がけ条例、レッドゾーン ・ 人口面でも災害面でも平和ボケ
取り組むべきこと
・ 道路の段差をなくす ・ 子育て世代だけでなく学生も住みやすい町へ ・ ラウンドワンが欲しい

＜産業・交流＞

＜産業＞

強み
工業盛ん ・ 税収が安定している ・ 岐阜県下工業No. 1（19年連続） ・ 航空（川崎重工業株式会社、航空宇宙博物館がある） ・ 工場も多く働く場所が多い ・ 製造業出荷額岐阜県1位
弱み
・ 市内の企業が発信する機会を知らない（学生） ・ ドローン飛ばせない
取り組むべきこと
・ 航空特区でベンチャー誘致 企業の事を知りたい ・ 学生が市内の企業を知る場面がある事を知れる様にする ・ 学生や市民に向けた、市の産業の魅力発信 ・ 主婦向けも欲しい ・ 企業の取組をふらっと見に行く機会を作る
市民ができること
・ 各務原市企業展 ・ SNS（インスタなど）の活用、生でやりとり

＜観光・交流＞

強み
いろいろあるよ！ ・ イベントが盛りだくさん ・ 歴史がある ・ 桜まつり 百十郎 ・ 航空宇宙分野のアピール
弱み
泊まれない～ ・ 短期集中関係人口 ・ 宿がない（足りない）

読み難さをウリにしよう
・ 読みにくい、かがむ?かがみ? ・ 読み方を含めて知名度が低い
取り組むべきこと
インバウンド向け魅力
・ インバウンド向け魅力の促進 ・ 桜が咲いていない時にできる活動、桜咲いてないまつり ・ 中山道の宿（うぬま宿など）の歩行者天国化 ・ 夜桜のライトアップ
市民ができること
・ 寺泊 ・ 民泊を増やす ・ 道路公園などにポイ捨てしない。ゴミ箱欲しい ・ シンお花見スポット

《その他》

～ボランティアしやすい町へ!～

弱み
・ ボランティアしたい人にPRができていない
取り組むべきこと
・ ボランティアは当たり前の町になると良い ・ ボランティアの相談窓口があると良い ・ 特に子育ても、仕事もしていない人はみんなボランティアをしている町になると良い
市民ができること
・ 進んでボランティアに参加する
市民が提案しよう
・ 市民から市へ事業提案コンテスト

C班

<都市基盤整備>

<<交 通>>

強み	
・ 鉄道の駅がたくさんある（16駅） ・ 道路が整備されている ・ 東西：国道21号、南北：関江南線、高速道路等 ・ 公共交通機関が発達している ・ 程よく郊外で田舎 ・ 国道21号・いちよう通り・おがせ街道・堤防道路、東西の幹線道路が充実している ・ JR、名鉄が通っており、利便性が高い ・ 愛知県にも行きやすい立地であり、特に川島地区では人口が増加している	
弱み	
・ 川島地区は車がないと不便 ・ 交通渋滞が多い ・ 各務原市内の北方面が行きづらい（道） ・ 南北の道路網が弱い	
取り組むべきこと	
公共交通の充実 ・ 公共交通機関の整備（東西につながる鉄道を生かしたバス路線。車がないと生活できない） ・ チョイソコかがみがはらを拡充する 道路の整備 ・ 道路の整備 自転車の活用 ・ 駅の駐輪場を整備する ・ 自転車の利用促進 ・ 自転車レーンをつくる ・ 自転車のイベントとタイアップする	
内外にPR・情報発信する	
市民ができること	
・ 公共交通機関を利用（利用しないと、本数が減ったり不便になる） ・ チョイソコかがみがはらを含む公共交通を積極的に利用する ・ 交通手段を（方法・時間）考えて移動する	

＜産業・交流＞

＜産 業＞

強み
活力がある ・ 財政が安定している ・ 工業生産額が県内No. 1 人が交流する場所がある ・ イオンがある ・ 施設だけでなく、イベントも充実している ・ 河川環境楽園、市民公園など人が集まる施設が充実 ・ 航空自衛隊岐阜基地がある ・ 様々な年齢層の人が楽しめる観光施設がある ・ 緑、公園もあれば、商業施設もある ・ 公園が多い（みんなが集まれる、子育てしやすい） その他 ・ 平地が多く地盤が良いため大きな災害が起こりにくい
弱み
・ 旅館・ホテルの魅力がない ・ 市の魅力が市外に伝わっていない ・ 中心市街地と呼べる場所がない ・ 特産品が弱い ・ 観光施設はあるが、市民が誇りと感じていない
取り組むべきこと
PR・情報発信で魅力の向上 ・ 市の全体活用マップなどを毎年更新して市内、外へ届くようにする ・ 魅力発信（公園を生かしたイベント） ・ 飛行機でPRする ・ 公式アプリをつくる ・ 観光施設の良さをアピール（イベント行うなど） ・ 市の魅力の発信 ・ 新たな魅力の創出 ・ アピールしたいところをSNSなどで定期的発信 事業者・市民の活動を支援 ・ 宿泊系の事業者への補助を充実させる ・ ふるさと教育を行い、子どもの意識を高める

- | |
|----------|
| 市民ができること |
|----------|

まちの魅力を知る

- ・ 観光施設を利用する。+α発信・オススメする
- ・ 実際に施設へ行ったり、イベントに参加したりする
- ・ イベントに参加する（参加者が増える事により多く人が集まる）
- ・ 観光施設の魅力を知る

- ・ SNSによる発信
- ・ 市外の人に魅力を伝える
- ・ SNSをフォローする（どんな発信をしているか知る）
- ・ 魅力な所、行って良かった所、口コミの投稿をする



(2)第2回目の結果

A班

<市民協働>

強み
・ 人との繋がり・支援を行う、パブリックマインドを持つ団体がすでにいくつかある
弱み
・ ウェブサイトがわかりにくい ・ 活動や取り組みが認知されていない
取り組むべきこと
・ 中間支援団体の支援の強化。行政と市民をつなぐ活動を強化することで市民協働がより効率的にまわる ・ 市民の活動が継続的に自立するまで支援してほしい（情報提供、マッチング）
市民ができること
・ 公民館を活用、利用する ・ 仕事を通して社会貢献すべき

<出産・子育て・教育>

《出産・子育て》

強み
・ 公園が多い！
弱み
・ バランスよくやろうとしすぎている。問題点に特化して計画するべき ・ 保育士の労働問題をよくしていくべき！
取り組むべきこと
・ このまちで出産したい、子育てしたいと思ってもらえるように予算を使う ・ 子どもの医療費、おむつ、第2子以降の保育料・給食費・施設の無料化 ・ 出産応援給付金の金額を倍にする ・ オムツの補助を一宮市と同じにするべき！ ・ インフルエンザの補助をすべき！（昨年度はあったのに今年度はない） ・ 働く母親へのサポートや企業に補助金などの制度をつくってほしい ・ 子育ての悩みを気軽に相談できる場所・機会を支援する、または作る ・ 使っていない施設の部屋の開放をすべき！ ・ 保育園にも習い事への送迎システムを（民間との連携）

・ 近隣市町村（含県外）レベルと同じか上の（保育士の）給与設定にすべき！
市民ができること
・ 家庭や地域で出来ることをして保育士の負担を減らすべき！

《教 育》

取り組むべきこと
・ 一人ひとりが充実感、達成感を得られる教育をしてほしい ・ 基礎学力の教育から自立を育てる教育へ ・ 保育士幼稚園教諭と小学生低学年教諭の連携を ・ 小学生高学年以上の子どもへのサポートもほしい ・ 長期休み中の学童へ給食か宅配弁当をすべき！ ・ 小中学生の遊べる遊具の充実化を！ ・ 中高一貫校をつくるべき ・ 中高一貫校の誘致をしてほしい ・ 学用品や自転車購入の助成をすべき！ ・ 習い事の助成をすべき！ ・ アプリの使い方や設定の仕方などでわかりやすく案内する機会を増やしていくべき！
市民ができること
・ 教育をサポートする為にサードプレイス、子ども達と教員を守る。教員の負担を軽減する

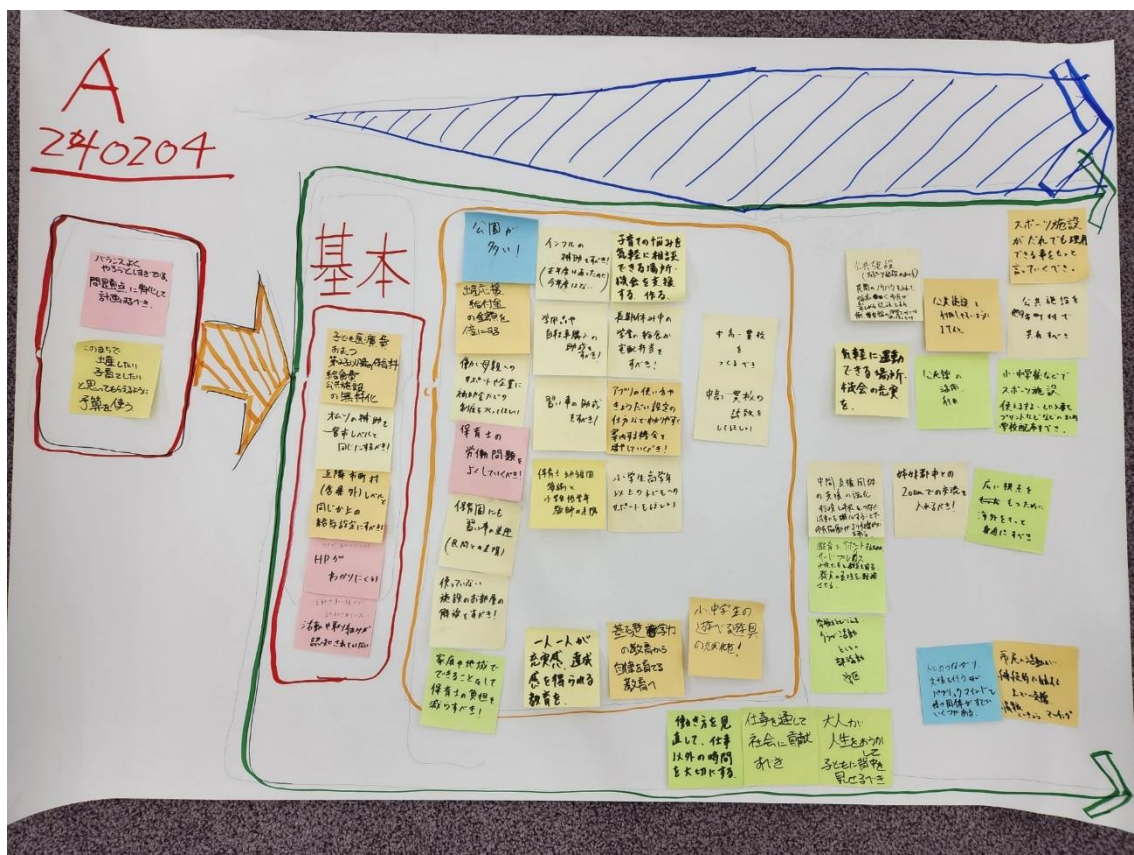
<文化・スポーツ・生涯学習>

取り組むべきこと

- ・ 公共施設を利用しやすいようにＩＴ化
- ・ 公共施設を他９市町村で共有すべき
- ・ 気軽に運動できる場所・機会の充実を
- ・ スポーツ施設が誰でも利用できることをもっとＰＲすべき
- ・ 公共施設（スポーツ施設のあり方）を民間のノウハウを入れて幅広く市民が楽しめる施設とする。例：体育館の運営だけでは、体育をしている人だけしか利用しない
- ・ 姉妹都市とのＺｏｏｍでの交流を入れるべき！

市民ができること

- ・ 学区を飛び越えるクラブ活動としての部活動に取り組む
- ・ 小・中学校などで「スポーツ施設使えます」と言う事をプリントなどにまとめ、学校に配布すべき
- ・ 働き方を見直して、仕事以外の時間を大切にする
- ・ 大人が人生を謳歌して、子どもに背中を見せるべき
- ・ 広い視点を持つ為に、海外をもっと身近にすべき



B班

<市民協働>

《楽しさプラスで協働力UP！》

弱み
・ 子どもと一緒に気楽に参加できるコミュニティが増えて欲しい
取り組むべきこと
・ 市民が興味関心を持てる様な伝え方の工夫、きっかけづくり ・ 世代や関心に合わせた伝え方（デザイン） ・ ワークショップの機会・種類を増やす。PRする
市民ができること
・ 行政は何を目指す、どんな仕組みの、何をしている組織か理解する ・ 自治会で意見を出し合って要望する（小学生向けの遊具、ボール遊びできる公園等） ・ 期待しない（やってもらう姿勢ではなく、自分でやる） ・ 自分から挨拶、会話する、外出する

<出産・子育て・教育>

《出産・育児しやすいまちへ》

弱み
・ 出産に対応している（できる）病院が少ない ・ つわりで病院に通った分の助成もあると嬉しい
取り組むべきこと
・ 東海中央病院や医師会と協議していく（産科や小児科について） ・ 父親の育児参加について、市職員が率先して実施・PRをしていくべき！
市民ができること
・ 男性も女性をサポート

《子供と楽しめる店を知りたい》

取り組むべきこと
・ （まちなかマップの）製本の助成、手助けをする
市民ができること
・ サークル内で情報を共有している ・ まちなかマップ作成

《先生不足に対応する為に》

弱み
・ 行きたい保育園に行けない
取り組むべきこと
・ 教員不足を補う為に、地域の力をどんどん入れる ・ 教師の労働時間を短縮できる様に、臨時教師を増やす（手当がしっかりしている） ・ 市在住者の市としての教員採用（特に子育て）
市民ができること
・ 学校へボランティアでお手伝いに行く ・ 寺子屋に学校帰りで立ち寄れる様に ・ 学生ボランティアで市に関係する事業に関わる

《みんな安心・障がい・不登校・グレーゾーン（自分のこと（かも）として考えよう）》

強み
・ 市内に複数の高校・大学がある。市外から若者が訪れる
取り組むべきこと
・ 支援学校だけでなく、通信制高校やフリースクールなど、多様な学びを支援していくべき！
市民ができること
・ 自分ごととして考える（障がい児の親だけでなく）

＜文化・スポーツ・生涯学習＞

強み
・ 市の講座（文化・スポーツ等）がリーズナブルで参加しやすい
弱み
・ 「ホッケースタジアム」という名前、場所しか知らない。ホッケーがどんなスポーツか分からない ・ 空宙博（そらはく）認知向上 ・ 市民公園が充実している事を知らない ・ 交通機関が少なく、遠くにバス停に歩いて行ったり、待ち時間が多い ・ 施設に対してバスが弱い（空宙博（そらはく）） ・ 情報・求めている相手、伝えられてるか・伝える手段
取り組むべきこと
・ 施設PR、市内の施設を知ってもらう、利用してもらう



C班

共通テーマ：情報へのアクセスしやすさ（市民が欲しい情報の提供と活用）

<市民協働>

《市民協働》

取り組むべきこと
・ 地域協働に対して参加しても良いという気持ちを下支えする施策を
市民ができること
・ ギブ&テイクの気持ちで地域のメンバーとして活動する ・ 消防団から情報をPRする

<出産・子育て・教育>

《子育て》

取り組むべきこと
・ 子育ての知識を得られる場を充実させるため助産師が保健指導する場を増やす ・ 産前の不安払しょくなどケアを充実させて欲しい ・ 子育てにかかる費用に対する教宣と不安解消 ・ 子育て現役世代に対する金銭的支援を拡充すべき（取られっぱなしのイメージ） ・ 各務原市の子育て対策が分かるようPR ・ 子育て中、家に居てもオンラインで短時間での働き方ができるような企業さん？とのマッチングをあっせんなどする ・ 出産、子育ての悩みごとに対応する ・ 恋愛の勉強、授業をする
市民ができること
・ 子育ての当事者であることの自覚を ・ 対面の交流を図る

《教 育》

取り組むべきこと
・ ○○高校といえば○○というブランディングを作っていく ・ 不登校対策の教育支援センターの情報を伝える
市民ができること
・ 高校就学前の小中の教育（スポーツの専門教育）を充実させる ・ 生涯学習事業と結びつける（現役教師が担うには負担が大きすぎる） ・ 安心出来るサードプレイスの提供

<文化・スポーツ・生涯学習>

《スポーツ》

取り組むべきこと
・ シティマラソンにフルマラソンも加える ・ 自転車の大会を作る ・ スポーツ施設の料金に割引制度導入
市民ができること
・ 大会の運営を民間でやってもらう

《公共施設》

取り組むべきこと
・ 市の公共施設を市民や市の団体が活用しやすい優遇があるようにする ・ 利用のハードルを下げる。予約とか ・ 心と体の健康の為に市民公園をもっと活用する
市民ができること
・ 市の施設を利用する。不便な場所を意見する ・ 割引制度を使って積極的にスポーツ施設を利用

(3)第3回目の結果

A班

<自然・環境>

弱み
・ 廃品回収や不燃物でゴミを分別できるが、分別意識が低い ・ D I Yした時に出的ゴミの引き取り方が分からない
取り組むべきこと
・ ゴミ捨て場の増設 ・ 町内のゴミ捨てのカゴの設置 ・ カラス対策として、ゴミ捨てカゴの設置 ・ リサイクルの意識を市民にもっと浸透させるべき ・ 行政が呼びかけを行うべき ・ 緑ごみリサイクル事業の促進 ・ 税優遇等でスーパーなど簡易包装を推進する ・ ビンのリサイクル出来る場所を増やすべき ・ 資源ゴミを集める場所を常時開放すべき（24時間）。町中にも作って欲しい ・ 農地の活用、農業従事者の支援の促進
市民ができること
・ ゴミの分別に対しての知識を深める ・ ゴミの分別をちゃんとすべき！ ・ リサイクルしやすい様に、ゴミの分別を細かくすべき ・ 地元産のお米を食べる ・ 野生動物にエサをあげない

<健康・医療・福祉>

弱み
・ 健診を企業に任せ過ぎ
取り組むべきこと
・ 健診の枠を増やすべき！ ・ 会社に勤めていない人への健診を義務化して欲しい ・ 高齢者へのサービスは十分なので現状維持 ・ 福祉、支援手続きは、簡単に出来る様にマイナンバーと紐付でどんどん自動化・オンライン化する

・ コンシェルジュ機能のある総合案内・窓口の設置等により、分野ごとに縦割りにならない福祉支援に取り組む ・ フードバンクの設置 ・ 企業に対するフードドライブ・フードポスの啓発に取り組む
市民ができること
・ ヤング健診を受診すべき ・ 高齢者の自律を促す ・ 高齢者もデジタルを扱う ・ 福祉のオンライン化に向けて、家族で教え合う時間を作る、地域で勉強会をする ・ 若い世代も参加しやすい地域活動づくりを進める

<防犯・防災>

弱み
・ 大雨時に水没する道がある（もぐり橋等）
取り組むべきこと
・ 高齢者が免許返納しやすいように、公共交通機関とタクシー助成を充実すべき！ ・ 夜間運転時に危険を感じるので、駅周辺以外にももっと街灯を増やしてほしい（桐野町）！ ・ 大雨時などには、地区単位など細かく、メールやLINE（オンライン）などで地域のリアルタイムの情報を発信し共有する ・ 前向き、楽しめるような防災教育・訓練を開催する
市民ができること
・ 歩行者は横断歩道を歩く ・ 横断歩道は歩行者優先のルールを再認識すべき！ ・ 夜の散歩ではライトを着用する ・ 地域の人にあいさつや立ち話をしたりして、普段から交流する ・ 家庭で防災備蓄を準備する ・ 子どもに対する防災イベント、子どもを巻き込んだ地域の訓練を開催する ・ 災害警報時の帰宅の交通網を確認する

A 240212



B班

<自然・環境>

《自然を楽しむ》

強み
・ 自然が豊かで緑が多いイメージ ・ ちょうど良い山・川・田畑がある ・ 公園・山含め、街路樹も多く緑が多い ・ 公園がいっぱい ・ 国道21号を走れば色んなお店がある
弱み
・ 街路樹が多く歩道が狭い。横断歩道待ちが見え難い ・ 自然を楽しみきれていない ・ 川に降りる場所が少ない
取り組むべきこと
・ 街路樹の適正管理、間引き ・ 自然を活用して、高齢者・障がい者・若者が仲良くなれるイベント ・ 「ぽく」みせる発信
市民ができること
・ 自然を楽しむイベント企画 ・ 飛行機などの騒音に対して理解する

《ゴミ0「ゼロ」きれいな街》

取り組むべきこと
・ 生ゴミ堆肥化のコンポストなど助成金・補助金制度を作って欲しい ・ エコポイント助成金 ・ ゴミ箱を増やす ・ 学生や若い人達に協力を求めるなら、学校と連携して強制参加にした方が良いと思う ・ ゴミ拾いの日を作る、参加する
市民ができること
・ ポイ捨てせず、ゴミは持ち帰る ・ ゴミ袋を持ち歩く ・ 携帯灰皿を配布する

＜健康・医療・福祉＞

＜きっかけ・出会いを作ろう＞

弱み
・ 障がい者グループホームが少ない ・ 普段から意見を言えるきっかけがない？
取り組むべきこと
・ じいちゃん・ばあちゃんと遊びたい ・ 子ども館のイベントに高齢者（一般）も参加できるイベントを作る ・ 障がい者が住み続けられる町と謳ったら？（グループホームじゃなく在宅で）
市民ができること
・ 自分のやりたい事・できない事が、じいちゃん・ばあちゃんのスキルで解決する ・ 駅前に困り事が集まる場、掲示板を作る ・ （ハートルーム、スーパーシニア）小学校に地域ルームを作る ・ お互いをリスペクトし、理解し歩み寄れる場づくり ・ 多世代で終活の話 ・ 障がいを持った子と会う・知る→ジブンゴトへ ・ 普段からこういう意見を言える場所と変化が分かる仕組み

＜身近なつどいの場をいっぱい作ろう＞

強み
・ 見守り隊の方々が（通学・下校時）多くて挨拶もしてくれる。子供に良い環境
弱み
・ 大通りや線路が多く、通学が不安になる地域もある ・ 世代を超えた自然な繋がりが少ない
取り組むべきこと
・ モーニング文化を活かした支援。地域の喫茶店に福祉・保健師などが訪問する
市民ができること
・ 祭りの復活や充実・発展。世代交流や障がいのある方との交流に繋げる

＜ちょっとした健康づくり＞

取り組むべきこと
・ 幅広い年齢層、気軽に行ける健康増進施設（ジムの様なガチでない）
市民ができること
・ 健康維持→日頃からの軽い運動・エクササイズ

《移動しやすいまちに》

取り組むべきこと
・ 免許返納や車の無い方も使いやすい地域のお店への支援 ・ 免許返納後も暮らしやすい町へ。公共交通機関の充実 ・ 100円バスを、値段を上げてでも本数を増やして、車無しでも生活しやすい様にする ・ 家まで来てくれるタクシー、安く（チョイソコより使いやすく）

<防災・防犯>

弱み
・ 災害に対して正しく理解できていない ・ 発災時、航空自衛隊岐阜基地は各務原市だけでなく、岐阜や愛知等も支援に行く。必ずしも各務原だけを助けてくれない、ということが理解されていない ・ 各務原市は安全だと思い込んでいる人が多い
取り組むべきこと
・ 被害情報、適切な収集＋発信 ・ 体育館にエアコンが無い ・ 消防団所在地に地域差が大きい ・ トイレが安心。防災も含む
市民ができること
・ 防犯への意識を高める ・ 空き家を活用した共助の防災備蓄倉庫 ・ 日頃からの備え（備蓄品、耐震補強） ・ 防災グッズの準備や避難所の把握をして、積極的に地域の訓練に参加する ・ もしもの時は、民間だからできる事をする

《街灯を増やす、顔の見える関係をつくる》

取り組むべきこと
・ 中心地以外の場所にも街灯をつける
市民ができること
・ 暗い時間に歩く時に蛍光の物を身に付ける ・ 近所の方々と日頃から顔が見える関係（防犯・防災・健康）

C班

<自然・環境>

<<環 境>>

取り組むべきこと
・ 野生動物増加に伴う山林環境の保全。公園にキツネがいる。犬の散歩が多い→エキノコックス心配 ・ 駆除する。狩猟免許取得のハードルを下げる（補助金、講習会など） ・ 深夜の騒音、暴走行為。かなり多い、ほぼ毎日、同じ様な場所、時間。取り締まって欲しい
市民ができること
・ 野生動物に安易にエサをやらない

<健康・医療>

取り組むべきこと
・ 医療・福祉事業者や従業員への手当てを厚くする ・ 医療費を18歳まで無料 ・ 健康・医療・福祉の事業が誰を対象としたもので、どんな内容なのかを市民に分かりやすく伝える ・ <u>病気にならないカラダにする為の活動。人と人との繋がり、食生活の改善、健康への知識づけ【ポイント】</u> ・ ピンピンコロリでいきましょう！
市民ができること
・ 健康・医療・福祉の事業に対して、関心を持つ ・ 家族、大切な人や自分の健康を守る為、食生活の改善と病院を頼る時の判断をつける

＜防災・防犯＞

＜防 犯＞

取り組むべきこと
・ 交通事故を減らす（特に高齢者） ・ 街灯が少なく、夜に歩くと怖く危険 ・ 日常の足となる公共交通機関を充実させる ・ デマンドバスを運行する ・ <u>バスの利用促進（1日の本数増加、経路の見直し）【ポイント】</u>
市民ができること
・ 免許の自主返納 ・ 意識して自転車や公共交通機関を使う ・ <u>バスの積極的な利用【ポイント】</u> ・ 懐中電気やスマートフォンのライトを使って、車からも歩行者の存在に気づき、事故防止

＜防 災＞

取り組むべきこと
・ 浸水被害を減らす ・ 川島北部の堤防の完成 ・ <u>自助と公助のラインをはっきり定め、ガイドラインを作る【ポイント】</u> ・ 操法大会を各地区での実践・訓練に変更する
市民ができること
・ 自然や農地を大切にする ・ ハザードマップを確認して、自身で出来る対策。避難場所を確認 ・ 堤防の土地の売却。地区からの要望 ・ <u>防災の為に自助を考える【ポイント】</u> ・ 自治会で人が集まった時に、災害時のシミュレーションを行う

